

第3次地域福祉活動計画

「団地」推進チーム

活動事例集

～団地や集合住宅での地域活動のヒント～

もくじ

活動事例

市営本地荘 コミュニティカフェP-r c e	・・・	1
市営緑が丘住宅 ふれあい喫茶	・・・	3
UR瀬古団地 モーニングカフェ&自主防災	・・・	5
市営本地荘 あおぞら市場	・・・	7

交流や課題解決のためのヒント集

団地内サロンの開催	・・・	9
移動販売車の誘致	・・・	10
地域支えあいマップ	・・・	11
その他の情報	・・・	12

高齢者の見守りと食事を支援する取り組み

住民が集える交流の場づくり

ピース 市営本地荘コミュニティカフェP-ce



(概要・目的・開催日時)

全35棟からなる市営本地荘は市内でも最も大きい団地のひとつ。本地荘が9割を占める本地丘学区は区内でも1番の高齢化率です。

毎週土曜日 8:30~11:00頃

本地荘第一集会所にて

コーヒー1杯300円でモーニングセットをつけています。

参加者は毎回50~60名程。

皆さん青空市でお買い物をして帰ります。

▲市営本地荘

やってよかった! (^o^)

参加者同士の顔見知りが増えて、地域の人との横のつながりができた。

ここがたいへん! (>_<)

- ・週一回の開催のため、仕入れ（見込み発注）がたいへん
- ・集会所の調理場はスペースが限られているのでたいへん
- ・衛生面は十分気を遣っています

(運営形態・経費)

市社会福祉協議会のサロン助成金と地域福祉推進協議会の助成金の一部、平成28年度からはつながり応援事業の助成金を使って運営しています。

(担い手の確保)

はじめはP-ceの専門のボランティアを募りました。その後は人づてがいちばん。それぞれが「楽しいよ!」とお友だちをさそって、徐々に協力してくれる人が増えました。





(P-ce 人気メニューベスト3)

- 1位 気まぐれサラダ・おからポテトサラダ
- 2位 カレー風味コールドソー
- 3位 おからごまドレッシングの白菜サラダ



ここがミソ!

豊富なメニューとおいしいモーニングセット。
アットホームな雰囲気が自慢です!

美女たちがお待ちしております!



(P-ce イベント)

- ・第1土曜日 気まぐれサービスデー
- ・第2、第4土曜日 気まぐれサラダ
健康チェックコーナー
- ・10月19日前後の土曜日 P-ce 誕生日
- ・8月 ビアガーデン

いろいろなイベントで楽しく参加できます。



(目標・課題)

カフェの会場が公設市場跡地の方へ移動する予定です。移動してからももっとお客さんが増えること! なかなかカフェに出てこない人も出てこれるように、これからも楽しいイベントを開催します。

☆参加者の声

毎週買い物前にカフェに来るのを楽しみにしています。

☆運営者から

ぜひ一度立ち寄ってみてください。
ボランティアも募集中!

住民が集える交流の場づくり

あいさつのできる関係づくり

市営緑ヶ丘住宅 ふれあい喫茶



▲市営緑ヶ丘住宅

(概要・目的・開催日時)

毎月第3日曜日 午前9時～11時

緑ヶ丘住宅 第2集会所にて

第3日曜日は、団地内の清掃日なので皆さんが出やすいということで、団地内の集会所で開催しています。参加費は200円でモーニングセットを出しています。

野菜の販売も行っていて盛況です。

ボランティアは清掃に出た人で順番に担っています。

やってよかった！(^o^)

- ・高齢者の方の話の場ができた。
- ・高齢者の安否確認ができる。
- ・運営側も楽しみながらできる。

ここがたいへん！(>_<)

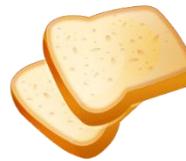
- ・月1回ですし、若い方も運営に関わってくれているのでそれほど負担はない！

(運営形態・経費)

自治会の会費と1人200円(コーヒー代)の参加者負担で運営しています。

(担い手の確保)

声かけして都合のつく方にお手伝いしてもらうなど、協力しながら活動しています。





ここがミソ!

- 年に1~2回、日用品等の景品を用意し参加者へくじ引き抽選会をおこなっています。100杯用意したコーヒーがなくなる程、たくさんの方が集まることもあります。
- ちょっとした野菜を販売しています!
- 1月はぜんざいをサービス



(メニュー イチオシポイント)



1 コーヒー・パン・ゆで卵にヤクルトが付きます(大人菓子)。



2 コーヒーはおかわりOK。



3 子どもさんには、子ども用お菓子を出しています。



☆準備

前日の午後からパンやお菓子の買い出しに行きます。

☆参加者の声

- 近くでコーヒーが飲めて、みんなと話ができるのが良いです。
- 月に1回元気かどうか確かめられる。
- 集まれる“場所”があるのがいい。来ないと孤立しちゃう。
- あったかい雰囲気がいいですね。

☆お手伝い

一年に2~3回、お手伝いしていただいております。活動を知った副棟長さんたちがお手伝いを買って出てくれました。副棟長さんたちのお手伝いはとっても心強いです!

☆運営者から

•皆さんの元気な様子が見られてうれしいのが何より!!
これ以外の何ものでもないですね。

気軽にオシャレカフェ&防災対策

集会所でお買い物もできます！！

瀬古団地モーニングカフェ & 自主防災



UR 瀬古団地

毎週水曜日朝8時～11時頃、瀬古団地集会所にてモーニングカフェを開催。

目的は住民同士の横のつながりをつくることにより、団地内での人との交流を盛んにさせること。交流が盛んになることによって、高齢者の孤立や子育て世代の孤立も防げると考えました。

カフェ開催時には移動販売車や野菜などの販売業者も呼び、近くにスーパーのない瀬古団地の問題も解消しています。

防災にも力を入れ、災害時の対策も団地を挙げて行っています。

やってよかった！(^o^)



- ・参加者の顔見知りが増えて友人ができた
- ・緊急の時に助け合う人ができた
- ・参加者でありながら、担い手の手伝いをしてくれる人が増えた

ここがたいへん！(>_<)

- ・運営資金のやりくり
- ・少ない運営者でやっていること



カフェに参加する皆さん



カフェの日にはコープあいちさんも駆けつけます。



ここがミソ!

災害時に誰でも分かるように、防災マニュアルを作りました。年に1回の町内会費集金の際には1人1人に声をかけながら災害時の行動を伝えています。また、助けの必要な人には申し出てもらい、いざという時ひと目でわかるように、黒板を安否確認ボードにしています。



赤いシールは高齢の方、黄色いシールは赤ちゃん。
黄色の紙は空き部屋です。

瀬古団地自治会防災名簿			組
部屋番号	世帯代表者氏名	年齢	
棟 号室		歳	
世帯総家族人数		人	
要救護者(新生児・高齢者・障害者・その他救護を必要とする人)の人数内訳。			
新生児・乳児 0歳から3歳まで	高齢者 75歳以上	その他要救護者	
人	人	人	
【注意事項】特別に配慮してほしいことがあった場合はご記入ください。			

「瀬古団地自治会防災名簿」世帯人数や要救護者の人数内訳を聞き取っています。

こんなことがありました。



★カフェに来ている人のなかで自宅で体調が悪くなってしまった人が、カフェでお友達になった人に連絡をして救急車を呼んでもらい、大事に至らなかったことがありました。顔見知りになって番号を交換していたため、早く連絡ができ、助けを求めることができました。

★カフェは病気や病院などの情報交換の場にもなっていて、何気なく話したお悩みが「私もそれで病院へ行った」「〇△の病気かも知れないよ、病院へ行った方がいいよ」となり病気の早い発見に繋がることもしばしばありました。

★夏休み期間は子ども連れのママ達も来て、子どもの成長をみんなで喜んでいきます。

聞き取り票はこれ!

この防災名簿をもとに上の安否確認ボードを作っています。

災害時の助けの要・不要はすべて自己申告で、助けが欲しい人は申し出てもらう仕組みです。

なかには書くのが嫌という人もいますが、希望する人で、了承を得た人は安否確認ボードに貼りだしています。

☆利用者からの言葉



カフェがお休みのとき、「カフェがないと寂しい!」と言われたのが嬉しかったです。

☆運営者から

ポイントはとにかく続けること!
特別なイベントを組まずにお茶とお菓子だけで、おしゃべりをしに来てもらいます。自分たちの住む団地への愛情と、毎週お待ちしております、という姿勢で続けています。

思わず参加したくなる交流の場づくり

買い物負担を解決するアイデア

市営本地荘あおぞら市場



市営本地荘

市営本地荘では団地内にあった公設市場が閉鎖されてから、多くの住民の方が少し離れているスーパーまで買い物に行かなくてはならなくなりました。

車や自転車に乗らない高齢者の方たちにとってはそれはとても大変な作業です。そんな住民の悩みを解決するべく、移動販売車を誘致する形で始めたあおぞら市場です。

現在では9つの業者が参加し、毎週土曜日の午前9時30分～午後1時に開催しています。

やってよかった！(〇)



- ・以前より団地内に顔見知りが増えた
- ・高齢者の外出の機会につながっている
- ・買い物支援につながっている
- ・多くの住民が関わる場とつながった

ここがたいへん！(>_<)

- ・毎週開催は人手が必要
- ・多くの人に参加してもらう工夫が必要
- ・売上の見込みがないと業者が撤退



私たちが
運営しています。



あおぞら市場は会場の準備から商品の陳列、会計、配達など学区役員を始め多くの住民ボランティアと販売業者が協力して運営しています。





ここがミソ!

多くの住民に来てもらえるようにポイントカードを導入したり、荷物が重くて部屋まで運べない高齢者の方にボランティアが配達するなど、自分たちでできる範囲でいろいろな工夫をしています。



買い物をすることでスタンプがもらえます。スタンプがたまると景品をプレゼント!



(あおぞら市場売れ筋商品ベスト3)



大根

葉っぱ付きの新鮮ネギで余すことなく使えると大人気!



お米

中津川産のコシヒカリでほどよい甘みがあると大人気!



とまと

ほどよい酸味と甘味があって安いと大人気!



こんな業者さんが来ています!

コープあいち (食品全般)

富田畜産 (豚肉)

株タイヨーサービス (物産)

富田屋 (手作り豆腐・ゆば)

山田屋 (牛乳・ヨーグルト)

秋田わかみショップ (秋田物産品)

有太松 (お菓子)

魚屋



☆利用者の声

遠いスーパーまで行かなくていいから助かつとるわね。

ここの大根はスーパーのと違って葉っぱもついとるでエエわ。



☆運営者から

市場をはじめて約5年。ようやく団地の住民にも浸透して、団地住民のふれあいの場、見守りの場、買い物支援の場になってきました。大変なこともありますが、皆さんが喜んでくれているのでやりがいがあります。興味のある方はぜひ見学にいらしてください。

団地内サロンの開催

1 団地内サロンとは？

団地内の集会所等を利用して開催するサロンのこと。

住民が集まってお茶やおしゃべりを楽しみながら過ごせる憩いの場。

横のつながりの薄れやすい団地において、地域とのつながりをつくる機会にもなります。

2 サロン開設までの一般的な手順

①協力者を募る … 一緒に活動してくれる仲間を集めましょう。



②開催日・会場を決める … 参加者も運営側も無理なく開催できるように。



③サロンで何をするか … お茶、おしゃべり等々、気軽に参加できる内容を。



④参加者を募る・呼びかける … ご近所で声かけしたりチラシをつくる。



⑤始めてみる！！

3 サロンをつくる時に活用できる助成金

○区社協たまり場助成金

⇒新規開設サロンの運営費の一部を助成します。

○サロン開設経費助成

⇒新たにサロンを開設する際の備品等経費の一部を助成します。

○サロン運営助成金

⇒サロンを運営するための会場費や講師料等に充てる経費を助成します。

★★助成対象となるかどうかは、サロンの「実施回数」、「参加者の人数」、「参加対象者」等の条件があります。また助成金の種類によって助成額や助成期間も異なります。（H29.2 現在）

4 サロンを見学したい

現在、守山区には地域の方やボランティア、施設などさまざまな担い手によるサロンが80以上あります。もちろん集合住宅の集会所で行われているサロンもあります。サロンをやってみたい、一度どんなものか見てみたい、など、サロンに興味のある方は、守山区社会福祉協議会へお尋ねください。

移動販売車の誘致

1 移動販売車とは？

近くにスーパーなどのない地域をまわって野菜や魚、お米などの生鮮食料品や日用品などの販売を行う車のこと。

2 どうやったら自分たちの団地に誘致できる？

周辺にスーパーなどがなかったり、買い物に困っている人が大勢いる地域にいて、移動販売車を誘致する場合、いくつかの業者に掛け合って調整します。

誘致にあたっては、

- ・誘致するには、地域住民の理解と協力が必要です。（広報・PRの協力）
- ・どのくらいの利用が見込まれるか。（ニーズの把握）
- ・他の地域での販売に出向き、直接交渉したり、人づてに依頼したりする場合もあります。（誘致のお願い）

ただし、販売の見込みがないと誘致に結びつかない場合も。誘致しても売り上げが上がらず、撤退を余儀なくされることも・・・。

3 移動販売をやってくれる業者は？

- ・コープ愛知…肉や野菜、総菜など
- ・ボンマルシェ…野菜や果物など
- ・豆腐屋や精肉店等の個人商店
- ・個人農家 など
- ・イオンやセブンイレブン、ローソンなど被災地や過疎地域などで移動販売を始めているところもあります。

「地域支えあいマップ」

1 地域支えあいマップとは？

住宅地図上に高齢者、障がい者などその地域で何らかの支援が必要な世帯とご近所の住民等がどのように関わっているか、どんな社会資源を利用できるか等を図示したマップのこと。

地域の支えあい状況・支援の必要な人の孤立状況等がわかるので、今後の活動を考える材料としても活用できます。

2 マップづくりで用意するもの

- ・拡大印刷した住宅地図
- ・色マジック
- ・丸シールなど、目印になるもの

3 マップの作り方（例）

①町内会長や民生委員をはじめとした地域住民が集まる。



②日頃から気になる方がいないかを話し合い、支援の必要な人や知人・友人・協力者にそれぞれシールなどで目印をつける



③対象者と協力者などとの関係をそれぞれ線でつなぐ（友人…青、見守り…赤等色分けする）

※矢印とコメントで関係性を記してもOK



誰が支援を必要としているのか？誰が孤立状況にあるのか？等が分かります。

4 マップづくりのルール

★★支援を必要とする方々等が、知らないところで自分のことが話されていることを知って、不快に感じないように十分に配慮しましょう。

→マップづくりで知ったことは、けして口外しないようにします。

作成したマップは、必要最低限のメンバーが保管するなど、各地域において保管の仕方の取り決めます。

その他の情報

○ボランティア保険（平成 29 年度）

・ボランティア活動保険

ボランティア活動中の事故によりボランティア本人がケガをした場合や他人に対して損害を与え賠償責任が生じた場合を補償する保険。

所属ボランティア団体の会則に則り企画立案された活動や社会福祉協議会に届出た活動、NPO 活動等が対象です。

保険料は 250 円より。補償内容によって3つのプランがあり、天災も補償するプラン（保険料 400 円より）もあります。

・ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動団体主催行事の参加者がケガをした場合や参加者に対して損害を与え賠償責任が生じた場合を補償する保険。

保険料は 30 円/人（軽易な日帰り行事：参加者 20 名から対象）。

他に主に運動等の日帰り行事プラン（保険料 134 円より）や宿泊行事を補償するプラン（保険料 202 円より）もあります。

・申込みは、お住いの区社会福祉協議会や市社会福祉協議会で受け付けます。

○ボランティアセンターの活用

ボランティアセンター（守山区社会福祉協議会内）は、区民のみなさんが、ボランティア活動を通じて「まちづくり」に参加するための窓口で、

- ・ボランティア活動に関する相談や紹介
- ・ボランティア活動に関する情報収集や提供
- ・ボランティア活動の支援
- ・ボランティアの養成
- ・福祉教育の推進

などをおこなっています。

サロンの余興に来てくれるグループをお願いしたい。

近所の高齢者の外出に付き添いしてくれる方をお願いしたい。

自分も趣味を生かしたボランティア活動をしてみたい。 など

ボランティアに興味のある方は一度お問い合わせください。

第3次地域福祉活動計画 「団地」推進チーム 活動事例集

～団地や集合住宅での地域活動のヒント～

発行 守山区社会福祉協議会・第3次地域福祉活動計画団地推進チーム

平成 29 年 2 月

守山区社会福祉協議会 TEL052-758-2011 FAX052-758-2015